

優先度については、次のとおりとする。

- ・必須 必ず提供しなければならない機能。カスタマイズ等を行っても提供できない場合は失格とする。
- ・任意 提供できることが望ましい機能。

回答については、次のとおりとする。

- ・「◎」 標準機能として提供できる場合、「○」運用（費用負担なし）で提供できる場合、「△」カスタマイズ等（費用負担あり）で提供できる場合、「×」提供できない場合
- ・カスタマイズ等「△」を記載した場合、「対応に係る追加費用」欄の記載を行うこと。
- ・優先度「必須」に「カスタマイズ等「△」を記載した場合、参考見積書（システム使用料、初期費用又はその他）に反映させること。
- ・優先度「任意」に「カスタマイズ等「△」を記載した場合の「対応に係る追加費用」は、参考見積書に反映させなくてよい。
- ・システムの運用開始時には対応できていないが、対応できる見込みがある場合は「○」とし、開始時期を備考に記載すること。

大区分	小区分	No	要件	優先度	回答	対応に係る追加費用 (円：税込)	備考	
共通	操作性 (職員操作)	1	PC・タブレットでの使用に対応すること。	必須				
		2	PC・タブレットから同一の画面構成で操作が可能であり、端末ごとに操作方法を覚える必要が無いこと。	任意				
		3	メインメニューから各機能呼び出せること。	必須				
		4	全ての機能からメインメニュー画面へ簡単に遷移できること。	必須				
		5	システム内に機能更新など事業者からのお知らせが表示され、利用者がすぐに情報を確認できること。	必須				
		6	メインメニュー画面において、新着情報（保護者からの連絡など）がシステム画面上で通知されること。	必須				
		7	システム画面上で通知があった際は、通知音が鳴ること。	任意				
		8	システム上すべての画面から設定ページ・マニュアルページに遷移できること。	必須				
		9	保育課がシステム画面で園を選択でき、各機能を使用できること。	必須				
		10	帳票は、全てCSVまたはExcel形式で出力できること。	必須				
	セキュリティ (職員操作)	11	ログインの失敗が一定回数以上に達した際に、当該アカウントをロックできること。	任意				
		12	ログイン後、一定時間操作を行わない場合に強制的なタイムアウトができること。	任意				
		13	特権アカウントから、全ユーザーのアクセスログ（ログイン・ログアウト）が収集できること。	任意				
アカウント管理	職員アカウント	14	職員アカウントの登録は、CSVにより一括で実施できること。	必須				
		15	職員アカウントごとにログインID及びパスワードを設定できること。	必須				
		16	職員アカウントごとに担当クラスを設定することができ、各機能利用時に担当クラスの園児が標準で初期表示されること。	必須				
		17	職員アカウント単位で、機能別に編集・承認・非表示（利用不可）の権限設定ができること。	必須				
		18	職員アカウントの権限設定は、特定の権限を持つアカウントからのみ行えること。	必須				
		19	職員は自分のアカウントのパスワードを変更できること。	必須				
		20	特定の権限のある職員は、他の職員のパスワードを初期化できること。	必須				
		21	職員アカウントごとに有効期限を設定でき、有効期限が切れた職員アカウントはログインすることができなくなること。	必須				
		園児アカウント	22	園児基本情報として、以下の項目を登録（更新）できること。 なお、下記の項目は情報管理・抽出を考慮し、1つずつ項目立てして管理できること。自由記述欄での記入は認めない。 (1)園児名、(2)園児名ふりがな、(3)性別、(4)血液型、(5)生年月日、(6)保護者氏名、(7)保護者連絡先、(8)郵便番号、(9)住所、(10)電話番号、(11)クラス、(12)入園日、(13)卒・退園日	必須			
			23	園児基本情報の項目は、上記に加え項目を任意で追加できること。自由記述欄への記入は認めない（情報の抽出が困難になるため）。	任意			
	24		園児基本情報の登録は、CSVにより一括で実施ができること。	任意				
	25		園児基本情報は、No23の任意追加項目も一覧としてデータ出力が可能なこと。	任意				
	26		園児基本情報のうち、住所や保護者連絡先等の項目について、保護者がアプリケーションの入力等を行うことにより情報が更新できること。	必須				
	27		No26により情報が更新したこと職員が確認できるような機能（プッシュ通知など）があること。	任意				
	28		クラスとは別に任意のグループを作成ができ、グループに所属する園児情報をまとめて管理できること。	必須				
	29		園児のアレルゲン情報を、園児情報管理画面のチェックボックスにて管理できること。	必須				
	30		アレルゲンに関する補足情報を記述式で記載できること。	任意				
	31		年度更新処理を行うことで、園児の再登録をすることなくスムーズに次年度のデータに更新が行えること。	必須				
	32	年度更新は予約登録ができ、事前に作業を実施できること。	必須					
	33	年度途中のクラス替えに対応していること。	任意					
	34	デモ園児を登録できること（登降園管理の園児数などには含まれない、保護者連絡テスト用に利用できるアカウントを作成できること）	任意					

優先度については、次のとおりとする。

- ・必須 必ず提供しなければならない機能。カスタマイズ等を行っても提供できない場合は失格とする。
- ・任意 提供できることが望ましい機能。

回答については、次のとおりとする。

- ・「◎」 標準機能として提供できる場合、「○」運用（費用負担なし）で提供できる場合、「△」カスタマイズ等（費用負担あり）で提供できる場合、「×」提供できない場合
- ・カスタマイズ等「△」を記載した場合、「対応に係る追加費用」欄の記載を行うこと。
- ・優先度「必須」に「カスタマイズ等「△」を記載した場合、参考見積書（システム使用料、初期費用又はその他）に反映させること。
- ・優先度「任意」に「カスタマイズ等「△」を記載した場合の「対応に係る追加費用」は、参考見積書に反映させなくてよい。
- ・システムの運用開始時には対応できていないが、対応できる見込みがある場合は「○」とし、開始時期を備考に記載すること。

大区分	小区分	No	要件	優先度	回答	対応に係る追加費用 (円：税込)	備考	
保護者機能	保護者アプリケーション	35	保護者向けに専用のアプリケーション（以下、保護者アプリ）を用い、各種情報連絡ができること。	必須				
		36	保護者アプリは、使用するスマートフォン端末等にインストールされたOSの純正アプリケーションダウンロードサービス(iOSの場合はApp Store、Androidの場合はPlayストア)から、保護者自身でインストールできること。	必須				
		37	兄弟姉妹の通っている施設が同一または別々問わず、保護者は単一のアカウントにて各種機能を利用でき、兄弟姉妹を切り替えるためのログイン・ログアウト操作が不要であること。	必須				
		38	保護者アプリは、「お知らせ」「アンケート」「連絡帳」等、項目種別毎の一覧表示機能に対応し、必要な情報をすぐに閲覧できるよう工夫されていること。	必須				
		39	保護者アプリの利用は人数に上限なく行えること。また各利用者毎に父・母・祖父・親戚等、続柄を登録できること。	必須				
		40	保護者アプリの初期設定は、専用のID・パスワードを保護者が入力することで行えること。	任意				
		41	保育園側で、保護者アプリの登録状況がシステム上で把握可能なこと。 ※園児と保護者アカウントがシステム上で紐づいた状態を指す。	必須				
		42	ID・パスワードの払い出しは園児登録と同時に自動で行われること。	必須				
		43	保護者向けマニュアルを作成し適宜保護者へ提供できること。	任意				
		44	保護者アプリからアクセスできるサポートページがあり、操作マニュアルや事業者からのお知らせを確認できること。	任意				
		45	保護者アプリ内に問い合わせフォームが設置されており、アプリ利用に関して直接事業者問い合わせできること。	必須				
		欠席等連絡	46	保護者アプリから、保護者は欠席（病欠・都合欠・忌引・出席停止等）、遅刻、お迎え時間・お迎えに来る人の変更を申請できること。	必須			
			47	申請は複数日を一括で申請できること。	任意			
			48	病欠の場合は、症状（発熱・咳・鼻水・吐き気・下痢）及び病名（園児が罹患しやすい病名）を選択し、申請できること。 また、補足情報を記述式で入力できること。	必須			
			49	保護者アプリから申請した情報について園側の確認状況（確認中、確認済など）がわかること。	必須			
	50		職員側管理画面では、保護者からの連絡情報が一覧で表示され、確認・未確認状況が一目で確認できること。	必須				
	お知らせ配信	51	園から保護者アプリまたはメールアドレス宛にのお知らせの配信ができること。	必須				
		52	配信先は、全園児・学年別・クラス別・任意グループ別・個人別と細かく指定ができること。	必須				
		53	配信先は、入園前園児も配信先として指定できること。	任意				
		54	園から情報配信された際には、保護者端末にプッシュ通知されること。	必須				
		55	添付ファイル（画像、PDFファイル）を送付できること。	必須				
		56	配信したお知らせについて、園児毎の既読状況確認ができること。	必須				
		57	配信したお知らせが未読の場合、未読の保護者のみに再配信ができること。	任意				
		58	日時指定による配信予約ができること。	必須				
		59	定型的な配信内容をテンプレート文として登録ができ、配信時に一覧から選択することで文章が自動転記されること。	任意				
		60	過去のお知らせ内容を複製等を行い、下書きとして書き始められること。	必須				
		61	お知らせの配信にあたり、権限者の承認を必要とする設定ができること。	任意				
		62	送信済みのお知らせを一覧で表示できること。また、配信先・タイトル等で絞り込みできること。	任意				
		63	配信したお知らせは、保護者から返信を受け付けないこと。	必須				
		64	保育課は特権アカウントにより、全園又は指定した園の保護者向けに一斉の情報配信ができること。	必須				

優先度については、次のとおりとする。

- ・必須 必ず提供しなければならない機能。カスタマイズ等を行っても提供できない場合は失格とする。
- ・任意 提供できることが望ましい機能。

回答については、次のとおりとする。

- ・「◎」 標準機能として提供できる場合、「○」運用（費用負担なし）で提供できる場合、「△」カスタマイズ等（費用負担あり）で提供できる場合、「×」提供できない場合
- ・カスタマイズ等「△」を記載した場合、「対応に係る追加費用」欄の記載を行うこと。
- ・優先度「必須」に「カスタマイズ等「△」を記載した場合、参考見積書（システム使用料、初期費用又はその他）に反映させること。
- ・優先度「任意」に「カスタマイズ等「△」を記載した場合の「対応に係る追加費用」は、参考見積書に反映させなくてよい。
- ・システムの運用開始時には対応できていないが、対応できる見込みがある場合は「○」とし、開始時期を備考に記載すること。

大区分	小区分	No	要件	優先度	回答	対応に係る追加費用 (円：税込)	備考	
保護者機能 (統)	アンケート	65	保護者アプリ宛にアンケートを配信できること。	必須				
		66	匿名でのアンケートに対応できること。	任意				
		67	配信先は、全園児・学年別・クラス別・任意グループ別・個人別と細かく指定ができること。	必須				
		68	配信先は、入園前の園児も配信先として指定できること。	任意				
		69	アンケートを配信した際には、保護者端末にプッシュ通知されること。	必須				
		70	配信したアンケートについて、園児毎の回答状況確認ができること。	必須				
		71	配信したアンケートが未回答の場合、未回答の保護者のみに再配信ができること。	必須				
		72	アンケート設問は上限なく選択式（単数回答）・選択式（複数回答）・記述式のいずれかに作成ができること。また、アンケート設問は、回答必須の設定に対応すること。	必須				
		73	アンケート毎に回答期限を設定できること。	必須				
		74	過去のアンケート内容を複製し、下書きとして書き始められること。	必須				
		75	アンケート結果は自動集計作業を行えること。 また、保護者別の回答内容を一覧で表示できること。	必須				
		76	保育課は特権アカウントにより、全園の保護者向けに一斉のアンケート配信および結果確認ができること。	必須				
		行事予定	77	行事予定を保護者アプリ宛に配信できること。各行事はカレンダー形式で表示され、兄弟姉妹がいる場合は、個人ごとに行事を絞り込みできること。	必須			
			78	行事予定は行事名・開催日時・開催場所・行事内容を入力できること。各情報は保護者アプリ上で保護者が確認できること。	必須			
	79		作成した行事予定は、園全体・クラス毎で印刷できること。	必須				
	連絡帳	80	保護者は、保護者アプリ上で家庭での様子を記した連絡帳を園に向けて記入・送信できること。	必須				
		81	保護者が記入する連絡帳の項目として、排便・食事・睡眠・検温・保護者からのコメントを設定できること。	必須				
		82	保護者が記入する連絡帳の項目として、上記に加えて任意の項目を年齢別に追加・削除できること。	任意				
		83	保護者は、連絡帳の記載内容を下書きとして一時保存できること。	必須				
		84	職員は、保護者が送信した連絡帳の内容を、クラス毎の一覧画面で参照できること。	必須				
		85	職員は、園での様子を記した連絡帳を保護者アプリに向けて記入・送信できること。	必須				
		86	職員が記入する連絡帳の項目として、排便・食事・睡眠・検温・連絡事項を設定できること。	必須				
		87	職員が記入する連絡帳の項目として、上記に加えて任意の項目を個別に追加・削除できること。	任意				
		88	職員は、連絡帳を作成する際に、当日朝に保護者が送信した連絡帳の内容を参照しながら記入ができること。	必須				
		89	職員が作成した連絡帳を任意の日時に送付する予約機能を有すること。	必須				
		90	職員は、連絡帳の記載内容を下書きとして一時保存できること。	必須				
		91	職員は、配信した連絡帳について、園児毎の既読確認ができること。	任意				
	その他	92	保護者アプリは日本語と英語の最低2ヶ国語に対応すること。言語の切り替えは保護者アプリの設定変更により、保護者が容易に実施できること。	任意				
		93	保護者アプリと同一の機能をWEBブラウザ版も有していること。 (プッシュ通知等のアプリ独自の機能を除く)	任意				
	登降園管理	登降園管理	94	保護者がタブレット端末を用いて打刻操作することで、登降園時間を記録できること。	必須			
			95	保護者が二次元コード等にて登降園時間の打刻ができること。(ICカード等の別途物品を利用する方法は認めない。)また、保護者はタブレットのタッチ操作でも同様の打刻処理が行えること。	必須			
			96	兄弟姉妹複数人が通っている場合は、全員を一度にまとめて打刻できること。	必須			
			97	保護者向けの打刻画面からは、その他の業務画面が閲覧・操作できないこと。	必須			
98			その日1回目の打刻は登園、2回目の打刻は降園とするなど、登園・降園を自動で判別する機能があり、手動での登園・降園の切り替え操作が不要となること。	任意				
99			打刻結果は職員が園児ごとの一覧で確認できること。	必須				
100			登降園時の入力漏れや修正等による変更入力や欠席理由の修正ができること。また、当日以外の記録も修正できること。	必須				
101			登園時間より降園時間が早い、打刻漏れがある等の不整合なデータが登録されていると注意を促すメッセージが表示されること。	任意				
102			打刻が完了した際、完了した旨の通知が保護者アプリ及び登録したメールアドレスに送信されること。	任意				
103			保護者は保護者アプリまたはWEBブラウザから過去の登降園時刻の履歴を確認できること。	任意				

優先度については、次のとおりとする。

- ・必須 必ず提供しなければならない機能。カスタマイズ等を行っても提供できない場合は失格とする。
- ・任意 提供できることが望ましい機能。

回答については、次のとおりとする。

- ・「○」 標準機能として提供できる場合、「○」運用（費用負担なし）で提供できる場合、「△」カスタマイズ等（費用負担あり）で提供できる場合、「×」提供できない場合
- ・カスタマイズ等「△」を記載した場合、「対応に係る追加費用」欄の記載を行うこと。
- ・優先度「必須」に「カスタマイズ等△」を記載した場合、参考見積書（システム使用料、初期費用又はその他）に反映させること。
- ・優先度「任意」に「カスタマイズ等△」を記載した場合の「対応に係る追加費用」は、参考見積書に反映させなくてよい。
- ・システムの運用開始時には対応できていないが、対応できる見込みがある場合は「○」とし、開始時期を備考に記載すること。

大区分	小区分	No	要件	優先度	回答	対応に係る追加費用 (円：税込)	備考		
登降園管理 (続)	出席簿	104	登降園の打刻一覧画面から、出席簿を自動作成し、ダウンロード・印刷できること。	必須					
		105	日毎の出欠人数や園児毎の合計出欠日数が自動計算されること。	必須					
		106	保護者アプリまたはWEBブラウザから申請された欠席理由（病欠・都合欠等）が自動反映されること。	任意					
		107	欠席事由を病名等で集計ができること。	任意					
		108	出席簿は任意の様式に変更できること。変更設定は権限を持つ職員アカウントから随時実施が可能で、軽微な様式変更にもすぐに対応できること。	任意					
		帳票管理機能	指導計画	109	全体的な計画、年間指導計画、月間指導計画（クラス別/園児別）を作成し、保存・印刷できること。	必須			
				110	過去に作成済みの指導計画を複製し、書き始められるコピー機能等があること。	必須			
				111	各項目について文章雛形が表示され、参照・引用ができること。	任意			
112	月間指導計画の「ねらい」作成時に年間指導計画の各期の「ねらい」を引用するなど、関連する他の文書の内容や、登録済みの行事予定を引用できること。			必須					
113	申請・承認機能があり、承認権限者が作成された内容について承認、もしくはコメント付きで差し戻しができること。また、承認済みのものは、承認権限者以外に変更ができないこと。			必須					
保育日誌	114		1週間ごとに「保育日誌」を作成できること。「保育日誌」の中で、「今週の計画」「活動の記録」「子どもの姿」「感想」を記録できること。	必須					
	115		「今週の振り返り」の記載事項は、翌週の「現在の子どもの姿」「今週のねらい」にデータ連動することで、保育計画の継続性を担保できること。	任意					
	116		指導計画を作成する際は、同一項目が帳票間で自動転記される等の、同様の内容を二重入力する必要がないように工夫があること。	必須					
	117		欠席者数は、登降園機能と連動して引用入力されるなど、効率的に入力できる仕組みがあること。	必須					
	118		登録した行事予定を日誌に反映できること。	任意					
保育要録	119		保育要録を作成し、保存・印刷できること。	必須					
	120		園児名や生年月日、住所などの園児情報はシステム上のデータから自動で入力されること。	必須					
児童票（成長の記録）	121	在籍情報、子どもの情報、家庭の情報、入所時の状況、健康の記録、歯科検診表、発達の記録、予防接種及び病気や感染症・検診一覧表、保育に関する記録、その他特記事項を記載した児童票を作成し、保存・印刷できること。	必須						
	122	システム上で管理している項目が連動して引用入力されるなど、効率的に入力できる仕組みがあること。	必須						
発達・健康記録	保健記録	123	園児の日々の検温結果・食事量・排泄等の状況や特記事項を記録できること。各測定結果はプルダウンから選択でき、記録操作が容易であること。	必須					
		124	園児の病気の履歴と予防接種等の記録ができること。	必須					
		125	検温、排便は記録時に現在時刻が自動的に測定時間として記録されること。また、測定時間は手動で訂正できること。	必須					
		126	検温・排便の記録は回数の上限なく可能であること。	必須					
		127	記録画面では、欠席している園児を自動的に非表示とできること。また、表示順を任意の順序に並び替えができるなど、記録をしやすい配慮がなされていること。	必須					
		128	保護者は、身体測定結果（数値・グラフ）を保護者アプリまたはWEBブラウザより確認ができること。	必須					
		129	保護者アプリから、保護者は予防接種及び病気・検診の記録を入力できること。	任意					
		身体測定	130	月ごとの身体測定結果（身長・体重・胸囲等）の項目を記録し、個人別の一覧を表示できること。	必須				
			131	入力画面で前回計測時の記録が表示され、前回計測時の記録を下回る数値が記録された時は強調表示されること。	任意				
	健康診断		132	園児別に健康診断の結果が記録及び帳票出力ができること。	必須				
		133	園児別に歯科検診の結果が記録及び帳票出力ができること。	必須					
	運用・保守	運用	134	本システムの運用時間は、原則として24時間365日常時利用を可能とすること。ただし、保守等に要する時間は除く。	必須				
135			職員向けのヘルプデスクは、電話での問い合わせを可能とし、オペレーターが対応すること。また、本システムによる問い合わせフォームまたは電子メールによる問い合わせにも対応すること。	必須					
136			保護者向けヘルプデスクは、本システムによる専用問い合わせフォームを使用しての問い合わせを基本とし、24時間受付可能とすること。	必須					
137			本システムに係る個人情報情報は利用端末側で保持せず、クラウド側で保持すること。ただし、本システムから帳票類等をタブレット端末にダウンロードした場合はこの限りではない。	必須					
保守			138	本システムの管理データが消失しないよう、1日1回以上サーバーのバックアップを実施すること。	必須				
		139	バックアップデータは稼働中の本システム及びデータを同時に破損しないよう対策を講じること。	必須					
		140	障害発生時は、発注者の承認の後、指定したバックアップデータから速やかに復元できること。	必須					
141		本クライアントOSやWebブラウザのバージョンアップがあった場合、本システムが問題なく稼働させることができるよう随時対応すること。	必須						